

赤色LEDで暑さにまけない花づくり ～アスターの品質アップ～

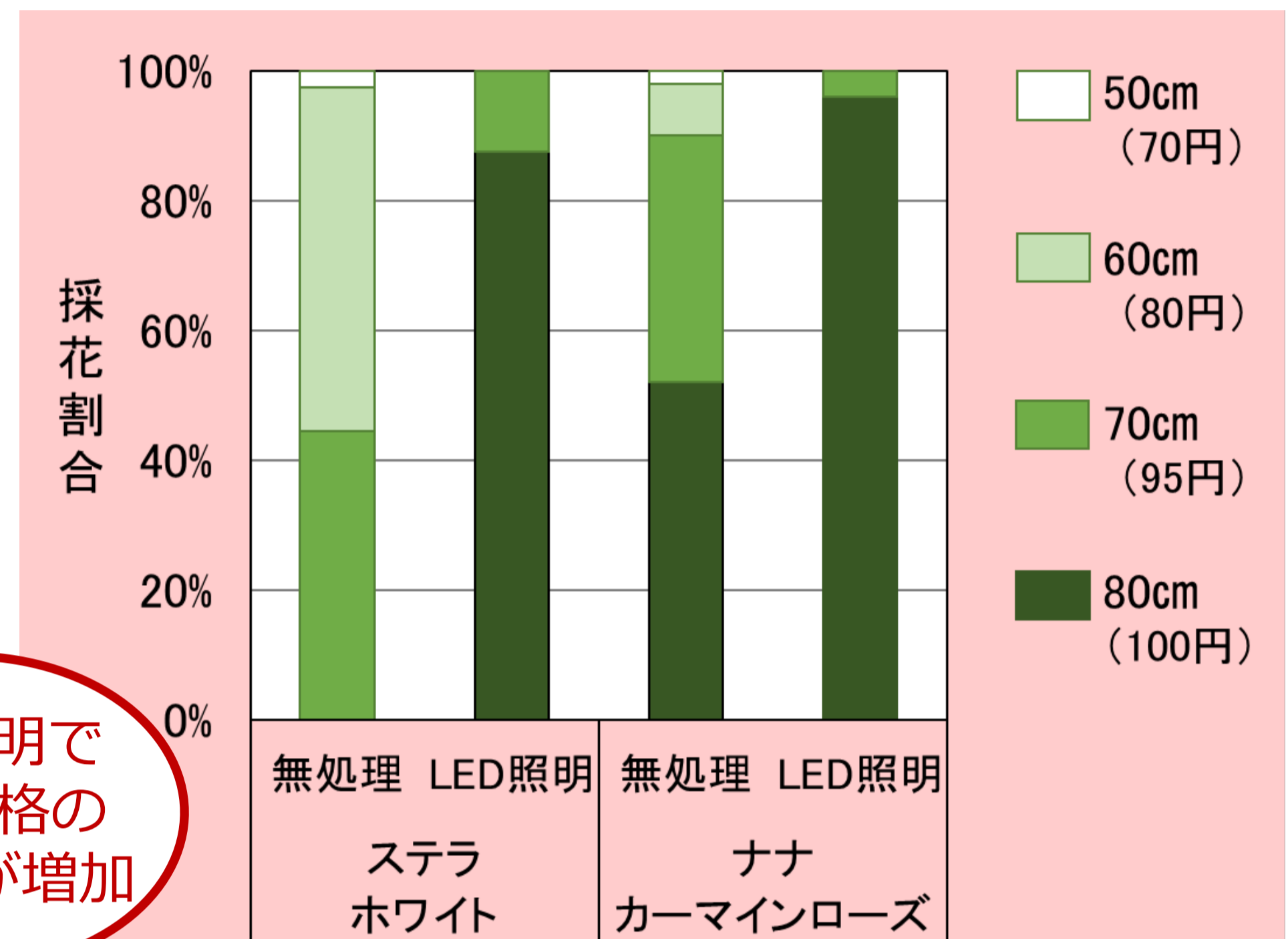
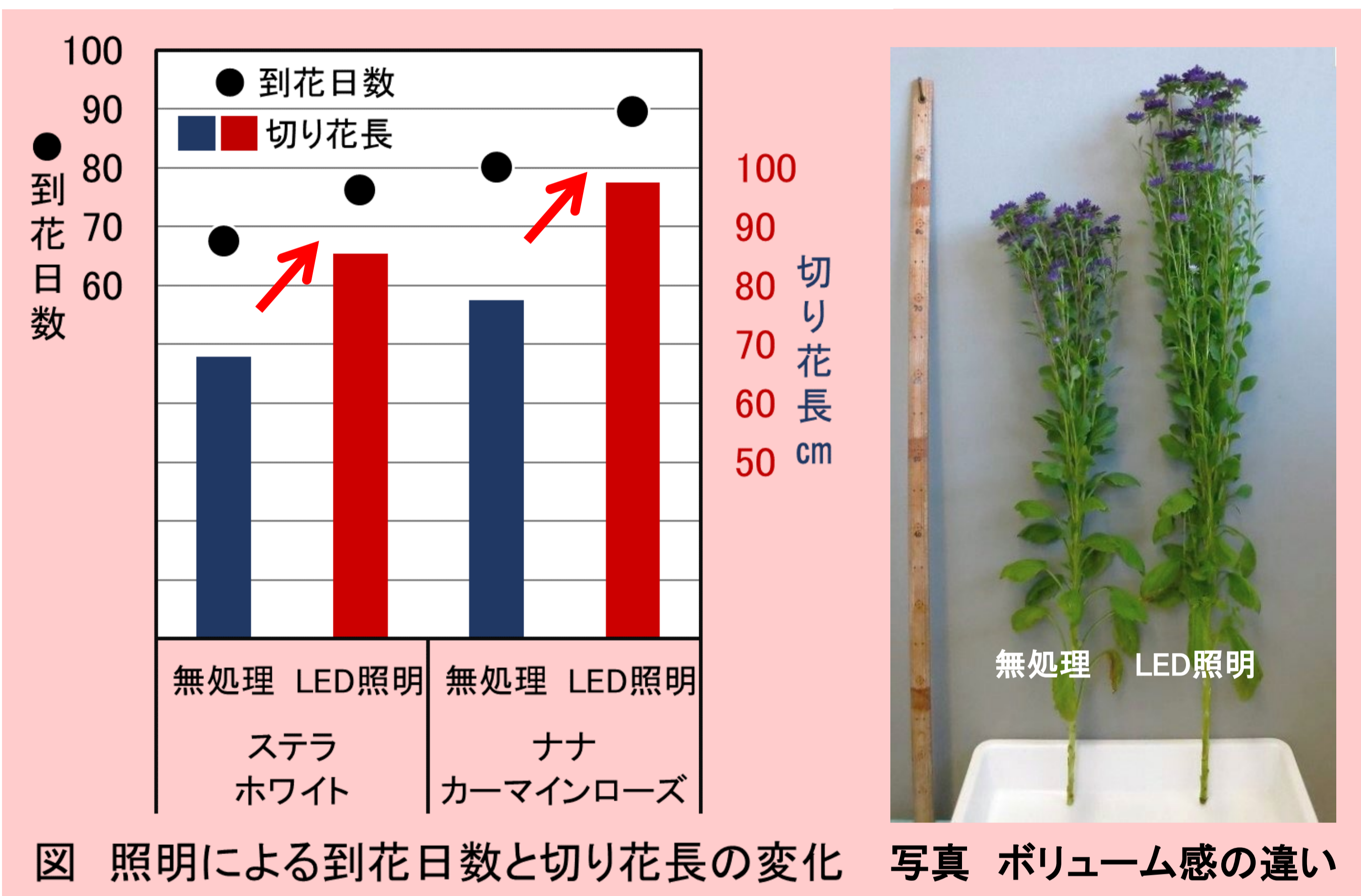


概要 Abstract

北海道も夏は暑い日が多く、6月に植える秋切りアスターは高温の影響で開花が早まり、品質低下が起こります。そこで、開花を遅らせる赤色LED照明で品質を高めます。

成果 Results

定植日から出蕾期まで赤色LEDで明期延長2時間照明を行うと、到花日数が長くなることにより切り花長やボリューム感が増します。販売単価の上昇により収益性も高まります。



LED照明で高い規格の切り花が増加

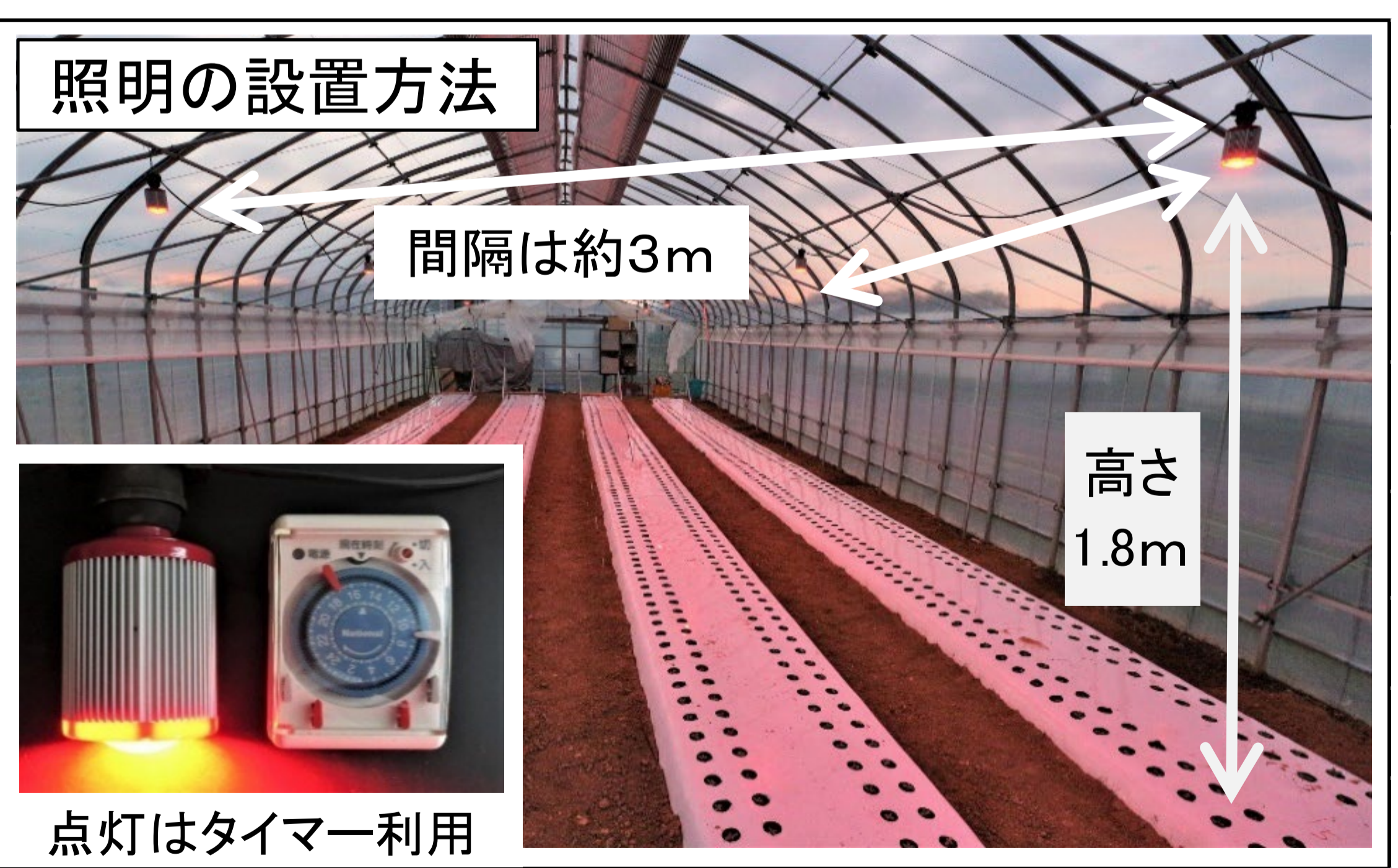
表 販売額の変化と増収額

品種	処理	切り花販売額 円(無処理差)	増収額* 万円/年
ステラホワイト	無処理	195	—
	LED照明	224 (+29)	23
ナナカーマインローズ	無処理	217	—
	LED照明	225 (+8)	2

10aあたりの試算 * LED照明に必要な資材と電気代を引いた額

アスターの赤色LED照明技術

項目	技術内容
作型	6月植え9～10月切り
品種	短茎開花する品種ほど高単価規格割合が増加 多くの品種でボリューム感が向上
照明期間	定植～出蕾まで (約50日間)
照明時間	明期延長2時間照明 (日の入前から点灯し、7月までは18:30～21:30、 8月からは18:00～21:00を目安とする)



普及 Dissemination

- ・ 秋切りアスターの品質向上技術として活用します。
- ・ 赤色LED照明により到花日数が長くなるので注意してください。
- ・ 照明器具は鍋清製DPDL-R-9W (中心波長620～630nm) を使用しました。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
研究部 花き野菜グループ
0125-28-2800
hanayasai-agri@hro.or.jp